

# 平成31年度 学校自己評価（計画）

県立阿賀黎明中学校・高等学校

評価項目	評価内容				これまでの進捗状況（10月）	今後の取組	自由記述
	具体的目標	具体的方策	評価基準	評価			
中1学年	基本的な生活習慣の確立を図り、生活改善、向上を目指す	★あいさつ、返事がしっかりできる。時間や提出物の厳守。身だしなみを整える等、適時指導する ・朝会でのチェック、呼びかけ、チェック表での点検を行う。	生徒自己評価： 8割以上：A 6割以上：B 以下：C				
	基礎的な学力の定着と家庭学習の習慣化を図る	★自学ノート・生活ノートでの学習時間点検と呼びかけ等を通して、家庭学習時間の増加を目指す。	自学・生活ノートをほぼ毎日提出する生徒が 8割以上：A 5割以上：B 以下：C				
		・各種検定の学年相当級の取得（漢字検定および英語検定）	5割以上：A 4割以上：B 以下：C				
		・学習相談の機会を増やし、週末課題、漢字テストの得点率を向上させる。	年間の得点率が 8割以上：A 6割以上：B 以下：C				
いじめ撲滅を図り、認め合い励まし合う集団を育成する	・毎月の生活アンケートに基づく教育相談を実施する  ★道徳、学活、総合の時間を通して人権教育、仲間づくり、集団づくりを図り、生徒の学級（学校）満足度向上を目指す。	・毎月実施：A ・8割以上：B 以下：C  アンケート満足 ・9割以上：A ・8割以上：B 以下：C					
中2学年	基本的な生活習慣の確立を図り、生活改善、向上を目指す	★あいさつ、返事がしっかりできる。時間や提出物の厳守。身だしなみを整える等、適時指導する ・朝会でのチェック、呼びかけ、チェック表での点検を行う	生徒自己評価： 8割以上：A 6割以上：B 以下：C				
	基礎的な学力の定着と家庭学習の習慣化を図る	★自学ノート・生活ノートでの学習時間点検と呼びかけ等を通して、家庭学習時間の増加を目指す。	生活実態調査で 例年比 +20分：A +10分：B 例年並み：C				
		・各種検定の学年相当級の取得（漢字検定および英語検定）	8割以上：A 6割以上：B 以下：C				
		・学習相談の機会を増やし、週末課題、漢字テストの得点率を向上させる。	年間の得点率が8割以上：A 6割以上：B 以下：C				
いじめ撲滅を図り、認め合い励まし合う集団を育成する	・毎月の生活アンケートに基づく教育相談を実施する  ★道徳、学活、総合の時間を通して人権教育、仲間づくり、集団づくりを図り、生徒の学級（学校）満足度向上を目指す。	・毎月実施：A ・8割以上：B 以下：C  アンケート満足 ・9割以上：A ・8割以上：B 以下：C					
中3学年	基本的な生活習慣の確立を図り、生活改善、向上を目指す	★あいさつ、返事がしっかりできる。時間や提出物の厳守。身だしなみを整える等、適時指導する ・朝会でのチェック、呼びかけ、チェック表での点検を行う	生徒自己評価： 8割以上：A 6割以上：B 以下：C				

基礎基本的な学力の定着と家庭学習の習慣化を図る	★新研究・生活ノートでの学習時間点検と呼びかけ等を通して、家庭学習時間90分を目標とする。	生活実態調査で 90分以上：A 90分未満：C			
	・各種検定の学年相当級の取得 (漢字検定3級および英語検定3級)	6割以上：A 4割以上：B 以下：C			
いじめ撲滅を図り、認め合い励まし合う集団を育成する	・学習相談の機会を増やし、週末課題、漢字テスト・英単語テストの得点率を向上させる。	年間の得点率が 8割以上：A 6割以上：B 以下：C			
	・毎月の生活アンケートに基づく教育相談を実施する  ★道徳、学活、総合の時間を通して人権教育、仲間づくり、集団づくりを図り、生徒の学級(学校)満足度向上を目指す。	・毎月実施：A ・8割以上：B 以下：C  アンケート満足 ・9割以上：A ・8割以上：B 以下：C			
高1学年	・高校生としての基本的な生活習慣及び学習習慣を確立させる。	・交通ルール及びマナーを遵守させ、登下校時の無事故無違反を目指す。	年間の事故・違反の件数が 0件：A 1～3件：B 4件以上：C		
		・オリエンテーション合宿や学校生活を通じ、適切な学習方法を身につけさせる。	生徒アンケートで、学習方法が改善できたと考える生徒が 7割以上：A 6割以上：B 6割未満：C		
		★生徒の学習状況を把握し、平日60分以上の家庭学習を習慣づける。	生徒の平日の家庭学習時間の平均が 60分以上：A 50分以上：B 50分未満：C		
・集団生活における自己のあり方を認識させ、ともに生きる素晴らしさを実感させる。	・部活動への参加を促し、心身の健康を増進させ、社会性を養成する。	生徒自己評価で「部活動の意義に関する項目で、意義を見いだせる生徒が全体の 7割以上：A 6割以上：B 6割未満：C			
	・体育祭、黎明祭等の学校行事を通じて、学年を越えた交流を図る。	行事後の生徒自己評価の当該項目で、意義を見いだせる生徒が全体の 8割以上：A 7割以上：B 7割未満：C			
	★生徒に対し個に応じた様々な支援をすることにより、達成感と自己有用感を獲得させる。	生徒自己評価で当該項目において満足している生徒の割合が 7割以上：A 6割以上：B 6割未満：C			
・自らの将来について関心を持たせ、個性や能力を伸長させる。	★進路に関するガイダンスや講演会を年3回以上実施し、生徒に自己理解を深めさせる。	実施の回数が 3回以上：A 2回：B 1回：C			
	・外部講師による講演会を実施し、生徒に卒業後の進路についてより深く考えさせる。	講演後の進路アンケートで、進路についての考えを深めた生徒が全体の 7割以上：A 6割以上：B 6割未満：C			

		★総合学習の福祉体験や事前学習を通して、社会に対して目を向けさせ、自己の適性や進路について考えさせる。	3月実施予定の「活動のまとめ」で、社会福祉について認識が深まった生徒が 8割以上：A 7割以上：B 7割未満：C			
高2学年	・日々の生活を見直し、学生としての行動規範を守る態度の育成を目指す。	・学校のルールを遵守させ、学校の一員としての自覚を促す。	年間の遅刻回数が 10回未満：A 20回未満：B 30回未満：C 40回以上：D			
		・交通ルール及びマナーを遵守させ、登下校の無事故・無違反を目指す。	交通違反が 0件：A 1～3件以下：B 4件以上：C			
	・学習習慣を見直し、自立した学習者へと成長させる。	・各定期テスト前に成績不振者対象の放課後補習を実施し、生徒の確実な進級を目指す。	実施した：A しなかった：D			
	・自己の進路を主体的に選択・決定できる能力を養う	・進路ガイダンスやLHRを利用し生徒の進路意識を啓発する。	進路希望調査調査で希望する進路先を書ける生徒の割合が 8割以上：A 6割以上：B 6割以下：C			
	・総合的な探求の時間を通して、他者と関わることにより、他者を理解・尊重しようとする態度の育成を目指す。	・職業体験の事前学習と実習を通して、職業観と勤労観を身につけさせる。	事後の調査で、充実した研修だと感じた生徒の割合が、 8割以上：A 6割以上：B 6割未満：C			
		・沖縄への修学旅行の事前学習と現地研修を通して、沖縄の歴史、社会環境、自然環境を体験・学習することで、平和を愛する心と広い視野を持ち、様々な文化を受け入れることのできる姿勢を養う。	修学旅行後の調査において、目標を十分達成できたと感じた生徒が、 50%以上：A 30%以上：B それ以下：C			
高3学年	・最高学年としてふさわしい生活習慣の確立と自己実現を目指す。学校生活や各種学校行事で下級生の模範となることを目指す。	・交通ルールの遵守、学生としての基本的なマナーを守らせる。必要に応じて繰り返し指導する事で、規範意識の一層の育成を図る。	交通違反が 皆無：A 3件以下：B 4件以上：C			
		・日々の授業や週末課題テストを通じ確かな学力を育む。	各種テストでの不合格者（70%未満）の割合が 10%以下：A 15%以下：B それ以上：C			
	・自らの進路希望の実現のため、以下の二つの力を身に付けさせる。 1. 学習習慣を充実させ、自己の進路を主体的に選択、決定、表現できる能力の育成を目指す。 2. 自己理解の深化と社	・総合学習やLHR等の時間を利用し、生徒にできる限り多くの進路に関する情報を提供する。進路講演会や大学講義体験等を充実させ、生徒が良質で多種多様な情報を得ることのできる環境を整える。 ★職員が共通の指導方針の下、互いに連携し組織的に生徒を指導育成する。また個々の生徒に対し頻りに面談を行い、きめ細やかな指導を心がける。	進路講演会等の企画に対する生徒の意識調査において、満足できた者の、上記の数値が80%以上：A 上記の数値が50%以上：B 上記の数値が50%以下：C  実施できた：A 実施できなかった：D			

	会的能力の涵養を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>★学習不振者に対し、昨年同様放課後の特別補習を行う等の手厚い指導を行う。また大学進学希望者に対し進路希望を実現させるために、生徒の学習量と学習の質をしっかりと把握し、適切に指導する。</li> <li>★面接試験の礼法指導、進路先への志望理由書や小論文の書き方指導を通じ、自己理解を促し、実社会で通用する力を身につけさせる。</li> </ul>	<p>実施できた：A 実施できなかった：D</p> <p>実施できた：A 実施できなかった：D</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの未然防止のため、日頃から家庭や地域とも連携し、子どもの豊かな人間性を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の生徒の様子を注意深く観察し、また兆候をいち早く把握し、迅速に対応する。</li> <li>・人権教育の授業を通して、他者を尊重する心を養う。</li> </ul>	<p>実施できた：A 8割実施：B 6割実施：C 6割実施できなかった：D</p>			
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分掌や学年等の連携を密にし、効果的に運営する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事等で各分掌や学年等との連携を密にし、日程や会場等の連絡調整を着実にする。</li> </ul>	<p>すべての行事の連絡が順調に行われた：A 一部連絡調整がうまくいかない行事等があった：C 連絡調整が不十分：D</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>★運営委員会や分掌部会等で学校課題解決の方策を検討し、全職員で共通理解を図る。</li> </ul>	<p>検討し、共通理解が図れた：A 概ね検討を進めた：B あまり検討を進めなかった：C 懸案事項解決に着手しなかった：D</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自習時間を減らすため、各種行事等では特別時間割を作る。出張等については授業変更で対応する。</li> </ul>	<p>事前に対応した：A 一部対応できなかった：B 不十分であった：D</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導方法の工夫改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★学校自己評価計画及びシラバスを作成し、公開する。</li> </ul>	<p>実施できた：A 実施できなかった：D</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を公開し、職員、保護者が自由に参観できるようにする。</li> </ul>	<p>同上</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>★数学・英語で習熟度や個の特性に応じた指導ができるよう、単元や学習内容によっては必要に応じ授業形態を変える。(中)</li> <li>★習熟度に応じて少人数集団に分けたクラス編成で授業実施する(高)</li> </ul>	<p>実施できた：A 実施できなかった：D</p> <p>実施できた：A 実施できなかった：D</p>			
学習指導研究推進(授業改善)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習習慣の確立と基礎学力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査で、生徒に学習計画表を作成させ、考査前の学習意識を高める。</li> </ul>	<p>実施した:A 実施しなかった:D</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査や外部試験結果を集計し、結果分析を職員・保護者等に報告する。</li> </ul>	<p>実施した:A 実施しなかった:D</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種検定で各学年の基準級以上を所有する生徒の割合を増やす。 【中2年生：4級 中3年生：3級】 ※ただし数学検定は次年度春に受験するため、基準級は各学年1級下となる。</li> </ul>	<p>基準級以上の生徒 50%以上:A 40%以上:B 30%以上:C 25%未満:D</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より良い教育活動のため、教職員の研修を促進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業改善に資するため、公開・研究授業旬間を設定し、保護者・近隣諸学校に広く公開する。</li> <li>②職員同士で授業を参観し合い、良いところ・改善点を指摘しあう。</li> </ul>	<p>①②③④をすべて実施した:A いずれか3つを実施した:B いずれか2つ実施した:C 実施しなかった:D</p>			

		<p>③生徒アンケートを実施し、授業改善に関するレポートを各自が作成し提出する。</p> <p>④連携先の津川中学校の授業を参観する。</p>					
		<p>①研究目標を設定し、それに合わせた授業を行う。</p> <p>②諸テストの結果を分析して授業改善の方途を明確にし、それを生かした授業を行う。</p>	<p>全職員実施した:A 殆どの職員が実施:B 実施職員少数:C 実施しなかった:D</p>				
進路指導	<p>・多様な進路に対応できるように、学習習慣の定着を図り、また進路実現に必要な表現力を養成する。</p>	<p>(高2国環) ★手帳の学習記録欄を活用し、家庭学習状況の把握に努め、学習時間は平日2時間以上、休日3時間以上を目標とする。</p>	<p>左記の時間以上、家庭学習を行っている生徒が、 全体の6割以上:A 全体の5割以上:B 全体の4割以上:C</p>				
		<p>(高1, 高2・3教養) ★手帳の学習記録欄を活用し、家庭の学習状況把握に役立て、家庭学習は平日1時間以上、休日2時間以上を目標とする。</p>	<p>左記の時間以上、家庭学習を行っている生徒が、 全体の6割以上:A 全体の5割以上:B 全体の4割以上:C</p>				
		<p>(高3国環) ★手帳の学習記録欄を活用し、家庭学習状況の把握に努め、学習時間は平日3時間以上、休日5時間以上を目標とする。</p>	<p>左記の時間以上、家庭学習を行っている生徒が、  全体の8割以上:A 全体の7割以上:B 全体の6割以上:C</p>				
		<p>(高1) ・1泊2日の学習オリエンテーション合宿において、計画に基づく学習習慣の確立や、講師を招いた進路講演会を行い、今後の高校生活での進路意識の啓発と、予習・授業・復習の学習サイクルの重要性を理解させる。</p>	<p>多様な進路、学習の重要性を知る良い機会とできた生徒が  全体の8割以上:A 全体の7割以上:B 全体の6割以上:C</p>				
		<p>(中学・高校) ・課題を計画的に実施し、課題を提出させる。</p>	<p>計画通り実施できた:A 実施できなかった:D</p>				
		<p>(高校) ・2, 3学年に小論文模試を実施する。</p>	<p>計画通り実施できた:A 実施できなかった:D</p>				
<p>・大学、短大等の進路に対応できるように、学習指導体制を確立し、生徒の学力を育成する。</p>	<p>(高1・2) ・長期休業中に進学補習を実施し、応用力の強化を図る。夏期休業中は4日間、冬期休業中は5日間実施する。なお、夏期休業前の特編授業で進学補習を4日間行う。</p>	<p>計画通り実施できた:A 実施できなかった:D</p>					
	<p>(高3) ・長期休業中や7月以降の放課後に、大学進学希望者を対象とした補習を行う。</p>	<p>計画通り実施できた:A 実施できなかった:D</p>					
	<p>(高1・2) ・模擬試験の受験一週前の土曜日に、模擬試験対策としての講習を行う。</p>	<p>計画通り実施できた:A 実施できなかった:D</p>					
<p>・個々の生徒が自己の適性を理解し、適切かつ自主的に進路選択できるように、早期の段階から職業に対する意識を高め、明確な目的意識を確立させる。</p>	<p>(高校) ★進路講演会を各学年ごとに年1回以上実施し、将来の進路についての関心を高め、また必要な知識を身に付けさせる。</p>	<p>計画通り実施できた:A 実施できなかった:D</p>					
	<p>(高1) ・大学での研究・教育についての理解を深めるために、大学の先生の講義を実施する。</p>	<p>大学での授業に対する興味、関心を持つことができた生徒が 9割以上:A 8割以上:B 7割以上:C</p>					
	<p>(高1) ・</p>	<p>自分の問題として意欲的に聴講できた生徒が</p>					

		・新入生意識啓発講演会を実施する。	全体の8割以上：A 全体の7割以上：B 全体の6割以上：C				
		(高1) ・大学進学希望者を対象に、新潟大学の学部・学科体験を実施する。	大学及び学部について知るよい機会とできた生徒が 全体の8割以上：A 全体の7割以上：B 全体の6割以上：C				
	・各学年と連携を深め、生徒の進路実現を可能にする。	(中3、高1・2) ・学年と連携し、総合学習の時間を使って、高齢者福祉体験活動や職業体験活動を行う。	計画通り 実施できた：A 実施できなかった：D				
		(高校) ・朝学活前の5分間を使って、各学年で朝学習の計画を立て、実施する。	計画通り実施できた：A 実施できなかった：D				
		(中学、高校) ・月1回定例会議を開き、指導計画を立案するとともに、各学年が円滑に計画を遂行できるように支援する。	計画通り実施できた：A 実施できなかった：D				
生徒指導	節度ある生活態度の育成を図る	★服装検査を年3回以上実施し、制服の正しい着こなしを徹底する。	3回以上実施し、服装の乱れがゼロ：A 3回実施したがだらしない格好がある：B 実施せず、乱れが目立つ：D				
		生徒会と連携し、挨拶や時間、身だしなみ等の改善を指導する。	実施できた A 実施できなかった：D				
	生徒の心の問題を的確に把握し、速やかに対応する	教育相談、特別支援に関する説明会や研修会を実施する。	実施できた A 実施できなかった：D				
	いじめの早期発見に努めるとともに、学校全体で組織的に対応する体制を整備する。	★全生徒向けのアンケートを実施し、個々のケースに迅速に対応できるようにする。	実施できた A 実施できなかった：D				
	全職員での生徒情報交換会を実施し、指導、対応について共通理解を図る	定期的な情報交換会を開催する。また、情報は会議で共有するほか、回覧等で全職員に周知する。	実施できた：A 実施できなかった：D				
	部活動と学習の両立を図る	★部活動の継続率を高め、高校では活動者数を全体の80%以上とする	80%以上：A 70%以上：B 以下：C				
	生徒会行事の充実を図る	中高生徒会の連携を図り、より充実した生徒会行実を実施する  行事事後アンケートの実施	黎明祭、体育祭で中高が協力して企画、立案できた：A どちらかの行事でできなかった：B 両方できなかった：D アンケート項目充実していて楽しく取り組めた80%：A 70%：B 以下：C				
保健安全	・保健・安全に対する理解と意識を高め、安全教育の徹底を図る	★交通違反及び交通事故0宣言を行い、交通講話や実技講習会を通して、生徒の安全への意識を高め、交通ルールを遵守できるようにする。	交通事故0：A 交通事故有り：D				
		・風邪等の感染症防止のため指導と情報提供を行い、感染防止及び集団発生を防ぐ。	計画通り実施できた：A 実施できなかった：D				
人権教育、同和教育	・生徒の発達段階に応じ、教育活動全体を通じて人権教育、同和教	・人権教育、同和教育についての研修会へ参加し、その内容を職員へ伝達し情報の共有をはかる。	実施できた：A 実施できなかった：D				

	育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級ごとに人権教育、同和教育を実施するために、教員向けの研修会を実施する。</li> </ul>	実施できた：A 実施できなかった：D				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>★発達段階に応じた内容で、学級ごとで人権教育、同和教育の授業を実施する。</li> </ul>	実施できた：A 実施できなかった：D				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師を招いての生徒向け人権教育、同和教育講演会を開催する。</li> </ul>	実施できた：A 実施できなかった：D				
情報教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立阿賀黎明中学校と高等学校の教育の取り組みや諸活動の状況</li> <li>・成果を広く保護者や地域住民へ配信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★公式 Web ページの更新</li> </ul>	情報入手後、1週間以内更新：A 情報入手後1ヶ月以内更新：B 情報入手後1ヶ月以降更新：C				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の写真や作品等について Web ページの掲載承諾を行う。</li> </ul>	実施した：A 実施しなかった：B				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急対応保護者メールについて登録を促す。</li> </ul>	実施した：A 実施しなかった：B				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が適切に校務を行えるように情報教育の側面からサポートする。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 機器の保守整備等を行い、問題発生に対し職員が主体的に解決できるよう対応する。</li> <li>2) 職員を対象として情報機器や情報の管理に係わる意識啓発のための各種取り組みを行う。特に個人情報取り扱いに関する注意喚起を促す。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>2) 本年度中に講習会を実施及びリーフレット等を発行する：A 本年度中に講習会の実施またはリーフレット等を発行する：B 実施・発行をしない：C</li> </ol>				
国際理解教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外研修の実施とその事前指導を通して、国際理解教育を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外研修を本年度中に実施する。本年度中に実施できない場合は、来年度実施のための具体的な計画を生徒に示し、希望者を募る。</li> </ul>	本年度中に実施：A 来年度実施計画を生徒に示した：B 実施せず、計画を示せなかった：D				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>★旅行会社による研修説明会を開き、具体的な研修内容を中学3年生、高校生1・2年生に示す。また、昨年以上に新たな内容を盛り込んだプランを提示し、研修の参加を呼びかける。</li> </ul>	本年度中に実施：A 体験内容を生徒に示すとともに新たな内容を盛り込んだプランを提示した：B 実施せず、体験内容を示せなかった：D				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修説明会、過去の実施内容報告をPTA総会時、もしくは学年PTA時に実施する</li> </ul>	本年度中に実施：A 過去の実施内容報告、研修計画を保護者に示した：B 実施せず、計画を示せなかった：D				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・該当学年との連携を図りアンケート等を実施する。</li> </ul>	該当学年と連携を図れた：A 該当学年と連携を図れなかった：D				
図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館利用者数を増やすため、読書環境や図書の実施を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★図書館情報を発信し、魅力的な本や新着図書の紹介に努める。</li> <li>・アンケートなどを実施し、充実した図書館作りに努める。</li> </ul>	図書館だよりを年3回発行する：A 年2回発行する：B 発行せず：D				
PTA活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA活動の活性化を目指し、総会をはじめとする行事の内容の充実及びPRに努め、保護者の参加率を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA総会において進路指導部と連携し、保護者対象の講演会を実施する。</li> <li>★総会等行事の開催日程をWebページ等で保護者へ早期にPRする。</li> </ul>	実施した：A 実施できなかった：D				
			実施した：A 実施できなかった：D				